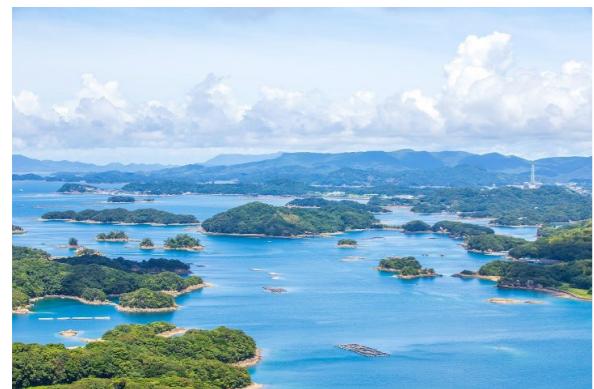


ネットでつながる！長崎おさかな作戦！

 SDGsラジオを読んでみよう！

マグロにタイ、サバにアジ、それからアナゴも。日本ではいろんなお魚がとれます。
では、日本で一番たくさんの種類のお魚がとれるのは、どこか知っていますか？
正解は、九州にある長崎県です。長崎でとれる魚は、どれもとってもおいしいんです。
まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」では、そんなすばらしい長崎のお魚を守り、
日本中に伝えていく「おさかなだお長崎」という取り組みを、たくさんの会社や人々といっしょに行っています。
いろんな地域の人々がインターネット上で集まり、長崎の海や漁師さんがかかる問題について話し合ったり、
お魚をテーマにしたイベントを開いたり、さまざまな活動を続いているんですよ。
オンラインでつながって、みんなで長崎のおいしいお魚を未来へつなげる。
みんなのまちにも、日本中にじまんできるものがあると思います。それをどうすれば守っていけるか？話し合ってみてくださいね。

 SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

「日本で一番多くの種類の魚がとれる地域」と言われている長崎県。長崎の海には、マグロやタイ、アジをはじめ、いろいろな魚がいて、豊かな生きもののつながりが広がっています。さらに、長崎の漁港ではとれたてに近い魚がいつでも手に入るため、県内の多くの料理店ではそのおいしさを楽しむことができます。また長崎の海は、水がきれいでちょうど良い水温が保たれているため養殖業が盛んで、養殖で育った魚の質も高いことで知られています。

画像参照：長崎県佐世保市の展望台から見える海



画像参照：おさかなだお長崎メンバーの旗印（東急不動産プレスリースより）

ただ長崎では人口が減り、魚の消費量が落ちており、漁師さんの高齢化が進むなどの問題があります。この長崎の海や魚、漁業を守り、そのすばらしさを全国に発信するために「東急不動産ホールディングス」では、さまざまな企業や人々と協力しながら、「おさかなだお長崎」という、「DAO(ダオ)」を用いたプロジェクトを取り組んでいます。このDAO(Decentralized Autonomous Organization)とは、「インターネット上で、みんなの意見で動いていく、リーダーのいないグループ」のことです。メンバー全員の意見と投票でさまざまなことが決定・実行されます。「おさかなだお長崎」では現在、全国のさまざまな地域の人々がインターネットで繋まり、長崎の海や漁師さんが抱えるむずかしい問題を、どうやって解決していくか考え、話し合ったり、魚をテーマにしたイベントを開くなど、いろいろな活動に取り組んでいます。

 キーワード

長崎県

九州の西の端にあり、美しい海岸線と豊かな自然が魅力です。長崎市には歴史的な街並みが広がり、平和公園やグラバー園などの観光名所も多数あります。漁業が盛んで、新鮮な魚が豊富にとれることでも知られ、まちの食文化を支えています。

漁港

漁船が出入りし、魚を水揚げするための港です。漁港では魚の集荷や加工、販売が行われ、まちの漁業を支える重要な施設です。

養殖

魚や貝、海そうなどを人間が育てることです。

 対象ゴール

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



14 海の豊かさを守ろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう

みなさんにできること！

みなさんのまちの「全国にじまんできるもの」を見つけて、どうすれば、それを守っていけるか話し合ってみましょう。

おさらい

●長崎県は「日本で一番多くの種類の魚がとれる地域」と言われている。

●東急不動産ホールディングスは、長崎県の海や魚、漁業を守るために「おさかなだお長崎」というプロジェクトに参加している。

●「おさかなだお長崎」ではインターネットでいろいろな地域の人々が集まり、さまざまな課題の解決に向けた活動が行われている。

メモ

